

## 第5回 第6期南砺市協働のまちづくり推進会議 次第

日時 令和7年10月17日（金）午後7時～

場所 井波コミュニティプラザ「アスモ」 大会議室

### 1. 開 会

### 2. 報告事項

（1）専門部会の進捗について

### 3. 協議事項

（1）提言書（案）について

### 4. 事務連絡

### 5. 閉 会



## 南砺市協働のまちづくり推進会議のこれまでの取り組み

H24年7月1日に、南砺市まちづくり基本条例が制定され、市民が主体のまちづくりを進めるために地方自治法第138条の4第3項の規定に基づく「南砺市協働のまちづくり推進会議」（以下、推進会議という。）が発足した。

現在までのまちづくり推進会議からの市長への提言等は次の通りである。

第1期	<p><b>任期 H24年12月～26年3月</b></p> <p><b>H26年3月 提言書提出</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市民会議への市民参画手法の検討               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 基本条例の周知の有り方</li> <li>(2) 会議への参画と意見公募の有り方</li> <li>(3) 行政評価制度の市民参画について</li> </ol> </li> <li>2. 協働のまちづくりの人材育成               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) コーディネーターの養成</li> </ol> </li> <li>3. 関係団体の活性化</li> </ol>
第2期	<p><b>任期 H27年1月～29年1月</b></p> <p><b>H28年1月 提言書提出</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市民への周知が充分でない事からその周知・広報について               <ul style="list-style-type: none"> <li>・パブリックコメント</li> <li>・議会傍聴</li> <li>・市民参画推進の仕組み</li> <li>・アンケート実施と公開</li> </ul> </li> <li>2. コーディネーターの配置と養成について</li> <li>3. 自治振興会について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 住民参画の為の各種リーダーの積極活用</li> <li>(2) 自治振興会組織の情報公開の徹底</li> <li>(3) 地域づくり支援員の指導・育成</li> </ol> </li> <li>4. 出資団体等の行政評価とその内容の公開               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 行政評価について</li> <li>(2) 出資団体について</li> </ol> </li> </ol> <p><b>H28年3月 条例の見直し</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第35条の「4年を超えない期間内において」を「4年を超えない期間ごとに」に改める。 理由 繰り返し見直しが行なえるよう改めるもの</li> </ol> <p><b>H29年1月 提言書提出</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 協働のまちづくりの推進について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 課題解決型の地域組織の運営のあり方（小規模多機能自治）や手法を市民レベルで検討する場を設置 →南砺市型小規模多機能自治市民会議の実施</li> </ol> </li> </ol>

	<p>2. まちづくりの意識を浸透させるための勉強会の開催について  (1) 市や南砺市自治振興会連合会、各種団体等と連携し、一緒に行動できる関係づくりを構築するため、先進地の取り組み等を学び、地元が地域のまちづくりを検討するための勉強会を設ける  → 31地区へ地域づくり勉強会</p> <p>3. 周知・広報について  (1) 推進会議に広報部会を設置し、市の広報に「まちづくり推進会議」のコーナーをつくり、推進会議で話し合われている内容等を伝えること  → 平成30年度6月号、12月号に掲載</p>
第3期	<p><u>任期 H29年6月～R1年5月</u></p> <p>H30年11月 提言書提出</p> <p>1. まちづくり人材リストの作成とその活用  → 全自治振興会へのリスト提供</p> <p>2. 中間支援組織の設置について  → H31年4月「(一社) なんと未来支援センター」設立</p>
第4期	<p><u>任期 R1年10月～R3年10月</u></p> <p>R2年6月 条例の見直し</p> <p>1. 第5章 中間支援組織 を定義</p> <p>2. 第1章 <u>持続可能な</u>住民自治組織と追記  理由 小規模多機能自治の手法による住民自治の推進と整合性を図ること</p> <p>R3年7月 提言書提出</p> <p>1. まちづくり基本条例や協働のまちづくりの普及について  → 条例の周知を推進、令和4年度の教育計画へ組み込み</p> <p>2. 小規模多機能自治のさらなる推進について  → ガイドラインの作成、情報発信の推進</p>
第5期	<p><u>任期：R4年2月～R6年2月</u></p> <p>R5年 条例に関する勉強  元南砺市市長政策室長 長澤孝司 氏の講演ほか、南砺市まちづくり基本条例に関連する団体等の講演及びワークショップ</p> <p>R6年1月 提言書提出</p> <p>1. 南砺市まちづくり基本条例や協働のまちづくりの推進</p> <p>2. 市民への情報提供と市民参画  → 市職員向け人事研修の実施（212名参加）</p>

## 第6期協働のまちづくり推進会議 各部会の取り組み

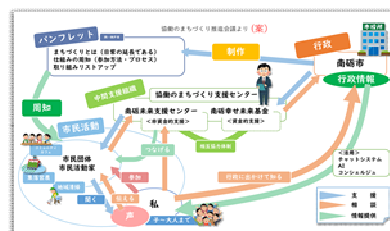
### 協働のまちづくり推進会議 全体会議

令和 6年 7月 8日（水） 第1回  
委員委嘱・委員長及び副委員長の選任

令和 6年 9月10日（火） 第2回  
部会の案・グループディスカッション（部会の名称及び部会にて協議）

令和 6年10月24日（木） 第3回  
部会の決定（部会名・部会長・部会の課題）

令和 7年 1月23日（木） 第4回  
部会の進捗確認・今後の部会の方向性について



第4回で作成した『協働のまちづくり推進会議の流れ』

## 協働のまちづくり推進会議

- 令和 6年11月25日（月） 第1回  
パンフレットの内容検討  
先行してパンフレットを作成している自治体調査
- 令和 6年12月16日（月） 第2回  
パンフレットの構成検討
- 令和 7年 4月15日（火） 第3回  
東近江市市民協働推進計画の紹介  
パンフレット（2ページ）の内容検討
- 令和 7年 5月15日（木） 第4回  
パンフレット（2ページ・4ページ）の内容検討
- 令和 7年 6月12日（木） 第5回  
パンフレット（4ページ）の内容検討
- 令和 7年 7月 9日（水） 第6回  
パンフレット（2ページ・4ページ）の内容検討
- 令和 7年 8月 6日（水） 第7回  
パンフレット（4ページ）の内容検討
- 令和 7年 8月20日（水） 第8回  
パンフレット（2ページ・4ページ）の内容検討
- 令和 7年 9月10日（水） 第9回  
パンフレット（2ページ・4ページ）の内容検討
- 令和 7年 9月24日（水） 第10回  
パンフレット（2ページ・4ページ）の内容検討

## 市民活動わくわく部会

- 令和 7年 10月 8日（水） 第11回  
パンフレット（2ページ・4ページ）の内容検討



パンフレット2ページ目（案）

## 市民活動わくわく部会

これから市民活動をやってみしたいけど、どうやったらできるのかわからない  
地域で気になることがあるけど、どうやって解決したらいいかわからない。  
そんな人たちが、市民活動を実行できるようにするためのパンフレット作成。

**みんなの1歩がまちを変える**

**一人ひとりが南砺市をつくる**

「気になる」から「わくわくする」まちづくりへ

**あなた・わたしが一歩踏み出すことを大切に作成**



市民活動を実施するイメージ

## 協働のまちづくり推進会議 中間支援組織のあり方部会

- 令和 6年11月27日（水） 第1回  
協働のまちづくり支援センターの現状把握
- 令和 6年12月17日（火） 第2回  
協働のまちづくり支援センター及び中間支援組織の課題把握  
視察の検討
- 令和 7年 2月25日（火） 東近江三方よし基金・  
まちづくりネット東近江視察研修
- 令和 7年 4月22日（火） 第3回  
中間支援組織が抱える問題把握  
東近江市市民協働推進計画の紹介  
今後市民団体等に対して必要になる支援検討
- 令和 7年 5月22日（木） 第4回  
協働のまちづくり支援センターに必要な機能の検討
- 令和 7年 6月26日（木） 第5回  
提言書骨子検討  
守山市の提言（守山市におけるこれからの中間支援組織のあり方に関する提言）紹介
- 令和 7年 9月16日（火） 第6回  
提言書の内容検討



東近江三方よし基金・まちづくりネット東近江視察研修

## 中間支援組織のあり方部会

地域づくり協議会の現状や中間支援組織及び協働のまちづくり支援センターが担っている役割と課題の検証をおこなう。

今後、どのような機能が必要なのか提言を行う。

### <現状>

市民団体への支援が十分ではない



### <必要な機能>

- ・市民団体等の情報の取集・蓄積・提供の機能を構築（支援センター）
- ・相談窓口機能と市民活動の伴走支援機能（支援センター）
- ・持続的に運営できるための体制の整備・充実（支援センター）
- ・環境づくり及び認知度向上（支援センター）
- ・一体的な支援体制の構築（中間支援組織）
- ・住民活動への中間支援の役割意識を醸成（地域づくり協議会）

## 協働のまちづくり推進会議 情報共有チクチク部会

- 令和 6年11月25日（月） 第1回  
現在の情報共有等の問題点と解決策について検討
- 令和 6年12月16日（月） 第2回  
今後の情報共有に求められることについて検討
- 令和 7年 4月16日（水） 第3回  
東近江市市民協働推進計画の紹介  
今後の情報共有に求められることについて検討
- 令和 7年 5月21日（水） 第4回  
部会として取組内容の検討  
「なんとカフェ」を実施することを決定
- 令和 7年 6月18日（水） 第5回  
「なんとカフェ」の開催日時場所の検討
- 令和 7年 7月 9日（水） 第6回  
「なんとカフェ」の運営方法・当日の進め方の検討
- 令和 7年 8月26日（火） 第7回  
「なんとカフェ」の運営方法・当日の進め方・チラシの検討
- 令和 7年 9月18日（木） 第8回  
「なんとカフェ」の運営方法・当日の進め方・チラシの決定



第1回なんとカフェ実施 チラシ

## 情報共有チクチク部会

誰もが自由に話せ、南砺市にある「何とかしたい！」「こうなったら、いいな～」を吸い上げる仕組み作り。そのために、『なんとカフェ』を実施する。

### <現状>

意見が届くのは、特定の人だけで、誰もが自由に発言をできる場がない。



自由に発言ができる場所を作るための仕組み作りを行う。

### <これから>

- ・試験的に「なんとカフェ」を実施する。
- ・今後、地域づくり協議会・市民団体がこの仕組みを活用し地域住民から  
思いの吸い上げることができるよう仕組みを作る。



# みんなの**一歩**が**まち**を変える

## 一人ひとりが**南砺市**をつくる

「気になる」から「わくわくする」まちづくりへ



あなたの「気になる」を「わくわくする」まちづくりにつなげてみませんか？  
どんなまちにしたいのか、なにをしたらよいのか、考えてみましょう。

みんなの声が大事な一歩になります。

南砺市には、あなた・わたしを支えてくれる仕組みがあります。

まずは、はじめの一歩を踏み出してみませんか？

## わたしたちの『南砺市』でまちづくりをするには？



南砺市協働のまちづくり支援センター・南砺市役所

に相談してみませんか?

令和 年 月 日

南砺市長 田中 幹夫 様

南砺市協働のまちづくり推進会議

委員長 齊藤 優華

## 提 言 書 (案)

南砺市において、協働のまちづくりを推進するため、平成 31 年度に地域づくり協議会が発足し、令和 3 年度からは中間支援組織の認定制度が導入されました。これらは、市民と行政が対等な立場で連携し、地域課題の解決に取り組む体制として、まちづくり基本条例の理念を体現する重要な取り組みです。

地域づくり協議会も設立から一定の年数が経過し、今後はより自立的・主体的な活動の展開が期待される段階に入っております。協働のまちづくり支援センター及び中間支援組織は、住民自治を支える要として、情報発信、相談支援、活動への伴走、人材育成、行政との連携など多様な役割を担っていますが、現状ではこうした機能に課題が見受けられます。

### 1. 協働のまちづくり支援センターの情報収集・発信体制の強化について

本市には、多くの公益的市民活動団体や市民活動に積極的に取り組む市民が存在しています。しかしながら、公益的市民活動団体や市民が活動を行う際に必要な情報が十分に提供されていない状況にあると感じられます。協働のまちづくりの推進には、協働のまちづくり支援センターを「情報のハブ」として明確に位置づけ、地域づくり協議会や公益的市民活動団体が「人材や団体の情報」、「補助金等の支援制度」、「地域のニーズ」などの情報を積極的に収集し、有効に活用できる体制を整備することが求められます。そのためには、以下について取り組むことを求めます。

○協働のまちづくり支援センターに地域づくり協議会や公益的市民活動団体等の情報の取集・蓄積・提供の機能を構築すること。

### 2. 相談・伴走支援機能の充実

市民活動全般を支援する相談・伴走支援機能の充実が求められます。新たに市民が活動に取り組もうとすると、団体設立や補助金の申請は、活動を始める団体や市民には非常に負担が大きくなると感じております。

特に、補助金申請に関しては、単なる書類作成支援にとどまらず、申請前の段階から相談やアドバイスが受けられその後も柔軟で継続的な伴走支援機能の整備が必要です。これにより、公益的市民活動団体等が活動を展開できる基盤づくりが進むことが期待されます。そのため、以下について取り組むことを求めます。

○協働のまちづくり支援センターに相談窓口機能と公益的市民活動団体等への市民活動の伴走支援機能を持たせること

### 3. 人材育成と内部体制の強化

協働のまちづくり支援センターが市民活動の支援拠点として機能するためには、相談対応やコーディネートに必要な専門的知見と実践力を備えた人材の確保と育成が不可欠です。そのため以下について、取り組むことを求めます。

○協働のまちづくり支援センターが持続的に運営できるための体制の整備・充実

#### 4. 物理的・制度的な利用環境の改善

協働のまちづくり支援センターにおいては、市民が気軽に相談できる環境を整備することが重要です。センターの場所や雰囲気づくりにおいて、市民・公益的市民活動団体等にとって敷居を低くし、誰でも利用しやすい空間を提供するよう配慮すべきです。そのために、センターが担う役割や提供する機能について市民の認知度を向上ため以下について、取り組むことを求めます。

○協働のまちづくり支援センターの利用者が増加するような環境づくり

○協働のまちづくり支援センターの役割と機能について市民への認知度を高める広報

#### 5. 中間支援機能の連携と役割

地域におけるまちづくりや市民活動をさらに効果的に支援するためには、中間支援の役割を整理し、一体的な支援体制を構築することが重要となります。現在、市民がどこに相談すればよいか分からないという課題が見受けられるようにも感じます。また地域づくりにおいて中心的な役割を担う地域づくり協議会が、住民活動への中間支援の役割を担うことを期待します。市民が主体的に地域課題解決に取り組む機会が増えるとともに、より効果的で持続可能なまちづくりが実現され则认为ます。そのために以下について、取り組むことを求めます。

○複数の中間支援組織の役割整理と一体的な支援体制の構築への働きかけ

○地域づくり協議会が住民活動への中間支援の役割意識を醸成すること





inなんとエナジー文化創造センター ヘリオス

＝ 今回のテーマ

「南砺市伝統芸能のこれから」

日時：令和7年10月19日(日) ①午後13時30分～ ②午後14時30分～

場所：南砺市文化協会事務室（2階）

### 「なんとカフェ」って

南砺市の中にある「なんとかしたい!」「こうなったら、いいな～」を集まった人で「対話」します。誰もが自由に思いを伝えられる場を提供します。

### 「対話」って何？

「対話」とは、意見を主張しあう「議論」とは異なります。相手との違いを認め合い、耳を傾け、新しい発見や創造を生み出すためのコミュニケーションです。

どなたでも参加できます！！

あなたの参加をお待ちしています！

主催：協働のまちづくり推進会議

# な ん と カ フ ェ

南砺市にある「何とかしたい!」「こうなったら、いいな～」を集まった人同士で「対話」します。

## 対話のルール

他者の思いを受け入れる

人の話は最後まで聞く

相手に配慮した発言をする

## スケジュール

- 1 主旨説明（5分）
- 2 自己紹介（5分）
- 3 対話セッション
  - 3-1 テーマ説明（1分）
  - 3-2 ワークシートへ記入（5分）
  - 3-3 思いを話す（1人2分）
  - 3-4 対話（12分～22分）
- 4 閉会

## ワークシート

## アンケート

①今日のなんとカフェはどうでしたか？

1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5

（わるい）

（よい）

②理由があれば



## なんとカフェ

### 1. 基本情報

名称：なんとカフェ in なんとエナジー文化創造センター ヘリオス

日時：令和7年10月19日（日）①午後1時30分～ ②午後2時30分～

会場：南砺市文化協会事務室（2階）

主催：南砺市協働のまちづくり推進会議

テーマ：南砺市伝統芸能のこれから

### 2. 目的・趣旨

カフェの目的：南砺市にある様々なテーマ・課題について「何とかしたい！」「こうなったら、いいな～」を集まった人同士で「対話」します。誰もが自由に思いを話せる場を提供する。皆さんの思いを聞く場を提供する仕組みです。地域づくり協議会や、市民団体の方々に皆さんの意見をいかしてもらうためのとりかかりになります。

### 3. 対象・募集

対象者：福野芸能祭の参加者

募集人数／定員：6 人ぐらい／2回

募集方法：当日声かけ

参加費：無料（クーラーを付けた場合、クーラー代400円）

### 4. 運営体制

ファシリテーター：部会長（磯辺さん）

ファシリテーター（補助）：北川さん

2回目の呼び込み：そのほかの人

## 5. プログラム

### 1. なんとカフェ目的説明（5 分）

※ 市として、今後住民が思いを伝えて集約できる場所を作っていきたい。

そのための「なんとカフェ」という仕組み。

今後、地域づくり協議会や、市民団体にこの仕組みを使ってもらうためのとりかかりとしたい。といった内容を説明

### 2. 自己紹介（5 分）

### 3. 対話セッション（30 分）

#### 3-1 テーマを伝える（1 分）

#### 3-2 自分の思いをまとめる（A5 に記入）（5 分）

#### 3-3 思いを聞く（2 分以内×6 名）（12 分）

※ヤジは禁止

#### 3-4 他の方の思いを聞いて思ったこと、感じたことを話しあう

（12 分～22 分）

### 4. 閉会（1 分）

## 6. 基本ルール

他者の思いを受け入れる

人の話は最後まで聞く

相手に配慮した発言をする

## 7. 思いの収集と活用

南砺カフェに対する思い（感想）もいただく

良い⇔悪い

5～1 の5段階

参加して思ったこと